

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	バス運行事業（美原区域路線バス運行事業）				事業番号	017-021	
担当部署名	建築都市局	局	交通部	部	交通政策課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺市地域公共交通計画		
3	事業開始年度	平成 17 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	—		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市民（当該路線バス利用者（令和8年度延べ年間利用者数目標値））				対象数	単位
						823,000	人
7	事業の目的	美原区域住民の最寄りの鉄道駅への移動手段を確保することによって、住民福祉の一層の向上を図る。					
8	事業内容	堺市とバス事業者（南海バス及び近鉄バス）が協定を締結し、バス事業者が下記市内鉄道駅と美原区内を結ぶ4路線を運行している。市は運行経費から運賃収入や国庫補助金等を控除した差額を負担している。 ○美原金岡線 地下鉄新金岡駅前～美原区役所前（南海バス） 平成17年2月1日運行開始 約13.8km 運賃200～380円 美原→新金岡37便、新金岡→美原37便／美原→新金岡34便、新金岡→美原34便（平日／土休） ○美原初芝線 初芝駅前～美原区役所前（南海バス） 平成17年2月1日運行開始 約10.8km 運賃200～280円 美原→初芝37便、初芝→美原36便／美原→初芝34便、初芝→美原32便（平日／土休） ○北野田さつき野線 北野田駅前～さつき野東（近鉄バス） 平成17年5月30日運行開始 約11.6km 運賃200～350円 29／19便（平日／土休） ○北野田多治井線 北野田駅前～多治井循環（南海・近鉄バス 共同運行） 平成18年9月25日運行開始 約13.6km 運賃200～330円 34便（全日） ※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社					
10	公民連携・協働事業	民間路線バス事業者と共同事業として実施					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	美原区域路線バス年間延べ利用者数	人	目標値	775,000	812,000	823,000	802,000
			実績値	811,196	801,898		
			達成率	105%	99%		
当該指標を選定した理由	バス利用者数が増加するほど、バス路線の維持に寄与するため。						
目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績と同水準。R8年度はおでかけ応援制度の無償化による増進効果を考慮。						
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	1日平均運行回数 (往復合わせる)	回	目標値	246	246	237	
			実績値	246	241		
			達成率	100%	98%		
当該指標を選定した理由	運行回数を維持することにより、バスの利用促進を図るため。						
目標値の設定根拠・算出方法	現行の1日平均運行回数を維持。平日と土休日の1日運行回数を加重平均で算出。						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	バス運行事業（美原区域路線バス運行事業）	事業番号	017-021
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量											
事業コスト											
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）											
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算	決算	当初予算		
		事業費（a）	113,481		108,398		139,668	125,639	162,357		
		国支出金	0		0		0	0	0		
		府支出金	0		0		0	0	0		
		市債	0		0		0	0	0		
		その他（ ）	0		0		0	0	0		
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0	0	0		
		一般財源	113,481		108,398		139,668	125,639	162,357		
		14	人件費（b）	1,620		2,430		2,520	2,520	2,610	
15	年間経費（c）=(a)+(b)	115,101		110,828		142,188	128,159	164,967			
事業費の内訳											
（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		美原区域路線バス運行負担金	R7	決算	125,639	125,639		R7	決算		
			R8	予算	162,357	162,357		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
R8	予算				R8	予算					
	R7	決算				R7	決算				
	R8	予算				R8	予算				
Ⅳ. 事業の効率性											
単位当たり経費											
17	①	美原区域路線バス年間利用者			人	令和6年度	令和7年度				
	②	上記①にかかる年間経費			千円	110,828	128,159				
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	137	160				
	算出についての説明等										
Ⅴ. 評価											
費用対効果に係る所見											
18	令和6年度と比較すると令和7年度はバス年間利用者数が微減し、また年間経費は燃料高騰等で増加したことにより利用者一人当たりの経費は増加した。令和7年度は北野田さつき野線において定時性確保に向けた一部ルートの変更・タイヤ改正及び利便性向上に向けた美原区役所経由の増便を行った。今年度も引き続き、バス利用者の利用促進に努める。										
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）										
19	美原区において、市が運行経費から運賃収入や国庫補助金等を控除した差額分を負担して当該4路線を運行することにより、美原区域住民の市内最寄り鉄道駅及び大型商業施設等で賑わう美原都市拠点への移動手段の維持確保に寄与した。										
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）										
20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業により、美原区域住民の市内最寄り鉄道駅への移動手段が確保され、年間利用者数は80万人を超え、通勤・通学をはじめとする日常生活を支える重要な交通インフラとして定着しているため、本事業の必要性及び有効性は高いと考えられる。								
	有効性	■ 高い □ 低い									